

共生型福祉施設運営者交流会・実践報告



天竜厚生会 アクシア 藤枝 橋本憲吾



実践報告内容

障がいサービスの職員の視点から、高齢者と障がい者が同一事業所で過ごすことへの課題について、施設移行等の事例をもとにして、お伝えしたい。

- ① アクシア藤枝について
- ② 法人の共生型サービスの取り組み
- ③ 障がいから高齢へサービス移行時の課題
- ④ 課題に対する提案

① アクシア藤枝について

施設種別：障害者支援施設

実施事業：施設入所支援50名（藤枝市唯一）

生活介護60名

短期入所20名

平均支援区分（入所）：5.58

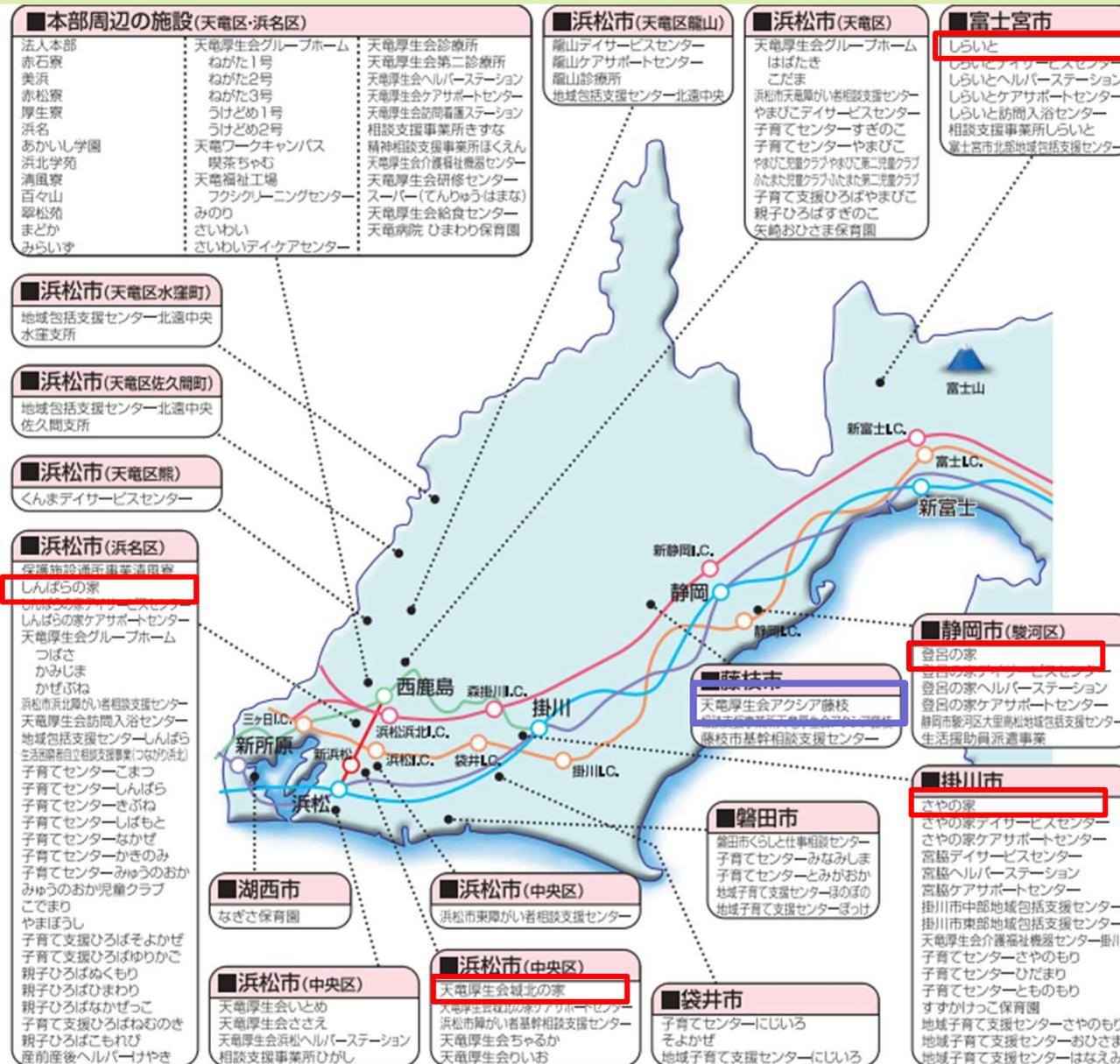
平均年齢（入所）：42.7歳

ご利用者の特徴：

重度の知的障害と自閉症スペクトラムおよびそれに伴う強度行動障害の方が大多数



②法人の共生型サービスの取り組み



②法人の共生型サービスの取り組み

- ・特別養護老人ホーム5事業所で共生型サービス（短期入所）の実施。

R6年12月実績（障がい分）：190件

- ・ヘルパー5事業所で高齢（訪問介護）と障がい（居宅介護）サービスを実施。

R6年12月実績（障がい分）：452件

- ・訪問入浴2事業所で高齢（訪問入浴）と障がい（市委託事業）サービスを実施。

R6年12月実績（障がい分）：61件

③障がいから高齢へサービス移行時の課題

- ・ 現在、高齢者サービスへの移行調整をしているアクシア藤枝の利用者の事例についての紹介させていただく。
- ・ 事例から、高齢者と障がい者が同一事業所で過ごすこと、障がいサービスから高齢サービスへ移行する際の課題についてをお伝えしたい。

③障がいから高齢へサービス移行時の課題

事例①71歳 男性 LSS（ロングショート）

区分5（療育B、精神2級）

- ・ 60歳の時に精神科病院からLSSの利用。
- ・ 62歳で有料老人ホームに移行するも一月で性的な逸脱行為を行い精神科病院入院。
- ・ 63歳退院し再びLSSの利用。
- ・ 65歳となり、障がいの施設入所が不可となり、ADLの状態から特養等の高齢施設の利用もできていない。

③障がいから高齢へサービス移行時の課題

事例②72歳 女性 施設入所

区分6（療育B）

- ・60歳の時にグループホームから入所。精神の手帳無いが、精神科病院への入院歴あり。
- ・70歳で肋骨骨折と誤嚥性肺炎で入院、71歳で慢性心不全の診断があり車椅子使用となったことから介護保険申請し、介護度4。
- ・特養申し込みしたが、申し込み先から入所不可の返答がある。

③障がいから高齢へサービス移行時の課題

- ・ 制度の違い

手続き、自己負担、介護度と支援区分の違い

- ・ 障がい特性への支援について

認知症ではない障がい特性やこだわりの理解

- ・ サービス利用の体験を行うことが難しい

相互の理解を段階的に行うことが困難

④ 課題に対する提案

- ・ 共生型サービスが障がいから高齢へのサービス移行のための体験の場としての利用ができないか。
- ・ 必ずしも共生型サービスという形ではなくとも、障がいと高齢の事業所同士のつながりを、同じ地域を支える社会資源として深めていくことができないか。

ご静聴
ありがとうございました。